時事新報定價

時事新報は毎號八面乃至十二面にして詳細なる商況物價の報告あり其代價は左の如し

時事新報定價（府外遞送には此他後に掲ぐる遞送料を要す）

一號　貳錢五厘○一箇月　前金五拾錢○三箇月　前金壹圓四拾五錢○六箇月　前金貳圓八拾五錢○一箇年　前金五圓六拾錢○月曜日休刊（此他大祭祝日年始年末一切休刊せず）

●前金　一旦受取りたる前金は凡て還付を以て返戻する事なく新聞紙代の前金は新聞紙を以て又廣告料の前金は廣告を以て勘定する事を御承知被下度候

時事新報遞送料

一　日本國內並に朝鮮國京城、仁川、釜山、元山津　一箇月　金拾三錢

二　南亞米利加、中央亞米利加、米國若くは加奈陀を經て郵送する歐洲各國　一箇月　金六拾錢

三　北米合衆國、英領加奈陀、布哇諸嶋　一箇月　金三拾錢

四　香港を經て郵送する亞細亞諸港、太平洋諸嶋、濠洲　一箇月　金六拾五錢

五　露領浦鹽斯德、清國諸港　一箇月　金三拾五錢

時事新報廣告料（前金）

一行五號活字廿四字詰	一日限	一日以上六日迄	七日以上
一行ニ付	十三錢	十一錢	十錢五厘

●廣告料定價　時事新報の廣告料は都て定價の通り申受くる筈なれども取次人の內には往々定價以下にて引受くる者ある由今後斯る事實を發見する時は直ちに其取次人に對し本社廣告の取次を辭絕する事もあるべき旨に付豫め廣告依頼者諸君に公告す

本社へ寄稿に付

東京府下を始め各廣縣に通信社なるものありて是より各新聞社に報道を發送し各新聞社は之を受けて紙面を擴張するより各社同一の記事を掲ぐるみと寡からず獨り時事新報社は社員並に通信員の多きを以て斯類の社に通信を依頼せずと雖も世間往々此事を知らずして通信社にさへ報道すれば本社にも其報道は達する事と信ずる方多きが如し爲めに行違ひを生じたる場合も尠からざれば本社に記事論說を寄稿せんとする方は直接に本社に向け發送あらんことを請ふ

時事新報社に送したる投書の原稿は凡て寄稿者に返戻せず又本社に保存せず

時事新報

昨今の政黨

近頃或る政黨が政府と結托せんとするの模樣ありとて如何にも不思議なる事の如く怪み且つ難ずる者あると同時に又其無根を辯ずる者ありて物論頗る喧しきが如し元來政黨の間には互の競爭より種々の風說を生じ其風說の事實を得ざるは每度のことなれば今度の風說も固より信を置くに足らざれども假に事實とするも怪むに足らざるのみか寧ろ當然のことなる可しと云ふ其次第は在野の政客なりとて終始野に在りて當局者と爭ふ可きものと約束の定まりし譯に非ず何日か一度は官吏となり政權を握て平生の議論を實地に施さんとする者なれば正面より攻擊して取て代らんとするも側面より侵入して志を遂げんとするも共に怪むに足らず現に明治十四年以來、在野の一政黨を率ゐて烈しく當路者と爭ひし老政客が明治二十一年に至り政府との和議整ふて入閣し開者殆んど合體の姿を呈したるみとあり只此點に注目す可きは意見の一致如何に在るみとにて若し政府の主義に火の如くなるに已を棄て、他と和する能はざれば潔く在野に退き而して政黨の如くなるに已を棄て、他と和する能に非ずして降參なり男子の不名譽とする所なれども前號の紙上にも述べたる如く今回の戰爭は政論の上に大打擊を與へ十數年來火花を散らして相爭ひし大問題に就ては略ぼ所見を同ふするに至り口八釜しき政論家も死活を決するに足る可き論題なきに窮するはどの有樣なれば此際相協同せんとするは當然の事にして若しも強ひて相反目せんとする者あらば徒に爭を好む者として却て識者の非難を免れざる可し又政府の方面より觀察するも既に代議政治を設立して國民に參政の權を與へたる以上は議院に多數の味方なくして圓滑に政治を行ふみと能はざるは勿論にして連年紛爭に紛爭を累ね當局者も滿腦の智慧を對議會策に絞り盡して餘事を思ふに遑なく豫算も屢々不成立を告げて起す可き事業をも起すみと能はざりしは政府の孤立したるが故なり左れば在朝の元老も表面には超然主義など公言したれども內々味方を野に得んことを希望し自から官を棄て、竊に政友を求めんとしたるみともあり又は議會を解散して更らに同志の多數を得んとて其總撰擧に際して種々に苦心したるみともあり今の政海を一見すれば議會の向背は直ちに當局者の進退を促すに足らずして所謂責任內閣の實なきが如くなれども既に多數の味方を得ざれば圓滑に政を行ふみと能はずとすれば行く〳〵は議會の向背に依て政府の更代を見るみと猶ほ英米諸國に於るが如くならざるを得ず既に今日に於ても議會の議論極めて喧しきときは其餘波として自から政府部內に動搖を生ずるの例なきに非ず亦以て今後の大勢を卜するに足る可し實際の形勢斯の如くにして今の政府の內實は味方を求る急なり政黨の內實も亦無聊に苦しむみと其ガしい恰も思ひ思はれたる其折柄、政治問題には特に爭ふ可きものなしと云へば願ふてもなき和睦の好機會、有力なる政黨は世論に聽せずして孤々と自から進む可し便り少なき政府は兩手を擧げて之を歡迎す可し和衷協同官民相投じて內治外交を滑にするは誠に目出度き次第にして我輩も隱なから竊に之を祝せんと欲する者なり

雜報

○歐洲外交社會の一斑

米國新聞に掲ぐる倫敦發通信中に云く抑も此八月後半に於ては全歐洲恰も休業の大氣に包まれて宮殿も外務省も門戶を閉ち窓を鎖して王公及び外交官、孰れも皆避暑の旅路に登れるみと毎年の例なるに茲年は公務に與る人達が電信局の傍に御輿を据ゑて隣國の行爲に深く注目するみと流行なるが如し蓋し列國外交の盤面に於て斯まで駒の動かんとして動かず總て疾視合の姿にて而も互に戰々兢々たる夏の季節は十二年來嘗て見しみとなし現時、歐洲の大國中、國會開期中のものは唯一の英國あるのみなれば鑑缸の表面に活動の見る可きものみと少けれ諸大國施政の下には幾多の魂膽、幾多の煩惱、養えるが如く沸くが如く政治家外交家は閑を偷むの時なかるべし

●惘む可き露帝　は當初、先見されたるが如く果して驀進佐の權力に隨從し自家を取捲く所の一大勢力たる彼等の心を魅めんみとを唯是れ勉めて露國に所謂政府たるもの即ち帝室の權力を振はんとする存意なし帝は玉印を捺すべき書類の御前に差出さるゝや唯云はく〻偽に調印すと雖も一黨派の他黨派に反對する其運動の渦中に捲込まれざらんみとを只管勉むるその樣は汲汲として唯其の及ばざる事あるを恐るゝが如し左れば黨派の者共が帝を引合に出さずして彼等の間に喧嘩の落着を告ぐれば帝は則ち大悅なりと云ふ露帝は又虛無黨員の陰謀再燃せりと聞て心も心ならず恐怖の果は遂に一切萬事を擲て畢生の注意を護身の一事に集め唯安樂に暮さんと意地も張も抜けたる惘れの姿に立至れり扨その事の結果を見れば內閣大臣を始めとして有力なる官吏輩が名々勝手次第の運動を逞ふして盤面錯雜なる手合せに人々個々の小才智を振ふのみは古來何れの時に於ても露國の施政には多少免る可らざる弊習なりしかど而も尙は今日より甚だしきはなし

●露國外務大臣の輕業　外交當局外の人々の注意は名義上、露國外務省の長たるロバノフ伯に集まるみと自然の勢なり伯は最も緻密なる觀察者の目には若しも時運に際會せば隨分、外其名聲を歐洲に喧傳せしむるに足るほどの人物なりと雖も內の朝廷に數多の競敵あるが爲め今日は此の機嫌を取り明日は彼の氣褪を窺ふなど其間に何たる一定の目的もなく唯七分三分の業合にて外交の術を重力の中心に擱次郎兵衛を學ぶ一個然漢たるに過ぎず伯の外交政略、何を主意とし何を目的とするや解し難きも無理には非ずと見ゆるなり ロバノフ伯は歐洲列國會議を開くを以て伯の一身の爲めに利にして又露國の爲めにも利ありと思ひ此目的に向て經營しつゝあるものと信ぜらる蓋し伯はメッテルニヒ又はゴルチャコッフの正當なる後裔として斯る列國の會議に赫々の名を輝かす技量ありと自任し能く此會に於て已の佛國に及ぼす權力を巧に利用し以て英國をして萬事に就き露國を扶持せしめ得可しと信ぜりとか即ち伯の考案は英佛中達の間に仲裁人として乘込まんとするの大望を果すに在りて兩者をして世界の遠々方に蔓延したる其利害の衝突を十把一束に仲直りせしめ露國が土耳其の統御權を握りて內政改革を擧行する事に英、佛兩者をして各々一口乘らしめんとの目算なり、此の目算たる、事の實際には取も直さず土耳其帝國を英佛露三國の間に分け取るみとなり露國外務大臣の輕業果して功を奏して意々土耳其分割を實にするに至らば露國は對岸の喧嘩の仲裁を試みて多年來の宿志たる南漢へ突出の目的を果さんとするものなり是ぞ海老の鯛の旨々仕事と云ふ可し

佛國計策の說明　佛國外務省が英國に對する舉動、甚だ不思議に堪へざるものあり抑も佛國は何故に全世界中、有らゆる場所に於て英國に向て斯くまで敵多く而も其十中八九は人造に係る憎惡不平の蜂を集むるか英人は之を怒るよりは寧ろ不思議に思へるなり彼等は佛人が眞面目に喧嘩を買ひに來る者とは想像するみと能はず然れども メコン河畔の事、ナイジェー上流の事、之より外に說明の下し樣はなき姿なり遺憾れ何は退て彼の心中を探りて考一考するに メコンの萬歲、ナイジェーの新失、共に是れ英に壓力を加へて佛露と合同せしめ三大強國互に提携して歐羅巴、亞細亞及び亞非利加に權力を振はんとする一大計策の一部分をして觀察すれば則ち豁然として悟るに足れり但し英國が果して斯る輩を仲間として虎狼に發足せんと決心す可きや如何、自ら別問題と知る可し

英獨協同不成立の理由　若しも現存の錯雜紛亂の中より歐洲會議の產出る事ならんには英獨の間に英佛露

●布哇の運命　の說に就て佛人は英國に請求せざる王位に即かせしてドハウス氏は之を承諾せざるみと左れども別報に據れば華盛頓英國へ向け出して意見を陳べ今女は遂に王位に父クレゴルン氏の獨逸汽船會社と汕頭航海會社と共に合併（ものの）とは合併となり二會社を悉くシームセ海會社の船舶は社の所有に屬すチコサン等の諸

○露國虛無黨　は露國ば虛無黨は露國しの之を爆發せし損じとあり能はず唯みの災慘の死を遂げし捕縛せられし者せし埃國維納府にして僅倉の破る外字新聞は報

○三角港改築計　は昨今國騷擾紛亂功せしむる管防禦の

は彼等が今日、なすべき姿勢を始めとして其三國の間の和協の實地に行うするの意あり覺悟、定まりて

●方の或は實施　開記者共が觀着彼の獨逸新聞の雜言、罵言議誘因の故たるを

●人が佛露に　れども英國は到ば英人が佛露に

●るに彼等の獨逸物を買込んで我邦ぞと骨髓に徹英露同盟なぞと

●ものに非ず左から己は頑固逸に向て英人が貿易の金錢上の